

令和7年第2回 北海道議会定例会〔一般質問〕開催状況

開催年月日 令和7年6月25日（水）
質問者 日本共産党 真下 紀子 議員
答弁者 総務部長兼北方領土対策本部長

質問要旨	答弁要旨
五 私立学校等の生理用品設置等について （一）生理用品設置状況等について 生理の貧困が社会問題となり、生理の貧困に伴う学習機会の喪失が生じないよう、2023 年度から全道立学校に生理用品が設置をされ、小中学校にも広がり大変喜ばれています。道教委はその効果をどう把握しているのか。 また、私立学校での設置状況について、道はこれまで把握してきたのか。現状はどうなっているのか、私学所管部に伺います。	（総務部長兼北方領土対策本部長） 道内私立高校における生理用品の設置状況等についてであります。道では、本年6月に各校に対し、調査を実施したところであり、その結果、男子校を除く47校のうち、46校に設置され、また、残り1校についても、設置に向けて準備中との報告を受けているところでございます。 生理用品の設置は、児童生徒達の心身の健康を維持し、安心して学校生活を送ることができる環境整備の一環であるということでございまして、道といたしましては、今後とも、私立学校の児童生徒の皆さんが、安心して教育を受けることができる環境の確保に努めてまいります。
（二）女性の健康に関する教育現場での理解推進について 文科省から、「月経の正しい理解とその対応」という冊子を活用した生理やPMS等に関する正確な理解推進のための事務連絡が5月にありました。道教委及び私学所管部では有効活用はどう取り組むのか、各々お答え願います。	（総務部長兼北方領土対策本部長） 月経に係る冊子の有効活用についてであります。冊子「月経の正しい理解とその対応」は、児童生徒や学校関係者が、月経の仕組みや諸症状、その対応等を正しく理解することを目的として作成されたものでありまして、本年5月に文部科学省から、学校において、この冊子を活用して理解の推進を図るよう依頼がありましたことから、道といたしましては、各私立学校に対しまして、国から提供された冊子の二次元コードの配布によりまして、周知を行ったところでございます。 性別を問わず、児童生徒が月経や月経前症候群に関する正しい知識を身に付け、症状や対処方法を理解して、適切な行動に繋げることが重要でありますことから、道といたしましては、引き続き、こうした冊子の周知等を通じまして、児童生徒をはじめ、学校関係者の理解の促進に努めてまいります。